

速報第3号

各関係機関団体の長  
各病虫害防除員  
農業資材販売等関係者 } 殿

福岡県病虫害防除所長

平成19年度病虫害発生予察速報第3号について

このことについて、病虫害発生予察速報第3号を発表したので送付します。

ぶどう

- 1 病虫害名：べと病
- 2 発生地域：県下全域
- 3 発生予想：やや多
- 4 速報の根拠
  - (1) 7月2半旬の定期調査では発病葉率0.8%(平年4.5%、前年11.0%)、発生ほ場率58.3%(平年54.8%、前年64.3%)であった。  
7月17日の巡回調査(本所管内5か所、筑後支所管内5か所計10か所)の結果、発病葉率12.8%、発生ほ場率90.0%と高い。
  - (2) 日照時間が少ない状況が続いている。梅雨明けが遅れるという予想であり、さらに福岡管区气象台7月13日付け発表の1か月予報では、前半は曇りや雨の日が多く日照時間が平年並か少ないと予想されている。
  - (3) 台風4号の風雨の影響で、感染が広がっている可能性がある。
  - (4) 本病の病原菌は気温が20~24で、雨が多く、湿度が高いと多発しやすい。夏期高温時にも展葉中の若い葉があれば感染発病する。
- 5 防除上の注意等
  - (1) 発病後の防除では、効果が低いため予防散布を徹底する。
  - (2) 罹病葉は感染源となるので除去し、ほ場外へ処分する。
  - (3) 雨後の乾燥をはかるため徒長枝の切除を行うなど、通風採光をよくする。
  - (4) ボルドー液を使用する場合は、散布直後の降雨等によって薬害が発生しやすいので散布時の天候に注意する。
  - (5) 防除薬剤は「平成19年度果樹病虫害・雑草防除の手引き」を参照し農薬使用基準(収穫前日数・使用回数)を遵守する。
  - (6) 薬剤の散布に当たっては、極力風の無い時に行い風向きに注意する。また、適正な防除圧で、飛散の少ないノズルを使用する等周辺作物への飛散防止の徹底を図る。